ふみびと

第２５４号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市

手紙がくれた新たな世界

味のない味でも

「最高のご馳走」

梅雨の間の束の間の晴れ間。夏がやってきたことを思わせるような太陽の日差しも今はありがたく思う反面、熱中症にならないよう体を労ることも大切。

暑さと渇きを凌ぐために水を飲むような季節がやってくると、学生の頃に浴びるように水を飲んでいた頃を思い出します。

当時は部活の練習中に水を飲むことは禁止。今では考えられないことですが、炎天下で二時間に一度の休憩中しか水を飲むことは許されていませんでした。

そんな中なので、その二時間にたった一度の水を飲める時間というのは何よりも貴重な時間。休憩時間になると、みんなさっきまで走るのもやっとだったのが嘘のように、最後の力を振り絞って我先にと水飲み場を奪い合っていました。そこでやっと口にした水は他のどんなものよりも至高の一口。

美味しい味付けがされたわけでもなく、むしろ少し塩素の匂いの混じった決して美味しいとは言えないただの水が、その時には確かに何よりも嬉しい最高のご馳走でした。

今では好きな時に水を飲むことも、飲みたい飲み物を選んで飲むことももちろんできるけれど、時々あの頃を思い出して、ものすごく喉が渇いた時に浴びるように水を飲みたくなります。

辛かった部活の練習を思い出させる「ただの」水。そんなただの水も思い出の味に。

何の味もしないけれど、あの頃を思い出させてくれるその水には、確かに「味」が感じられるような気がします。辛かったことさえ素敵な思い出になる優しい味が。

最高のご馳走。それは意外と他愛のないものの中にこそ感じられるのかもしれません。

柔軟に快適に

この時期、毎日の天候が気になる。どのくらい雨が降るか、晴れ間はいつなのか。それによって外出や家事の予定が変わる。暑かったり肌寒かったりと気温の変動も激しいから、着るものや過ごし方も臨機応変に変えなければいけない。春からの自粛生活は、梅雨の時期に似ていると言えるかもしれない。その時の状況に合わせた暮らし方。なかなか未来のことがわからないから、あまり先の予定はたてられない。ならば、梅雨時期の過ごし方を参考に今後の暮らしを考えてみてはどうだろう。

コロナ禍は初めての体験でも、梅雨ならば幾度も経験してきた。雨を楽しむためにお気に入りの傘を用意したり、家の中での楽しみを見つけたり。人それぞれ快適に過ごすコツみたいなものがあるはずだ。その経験を活かして、どんな生活の中でも楽しみを見つけて過ごしていきたい。

風船便

風にゆられて誰かに届け！

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局の筒に同封下さい。で交流のはじまりです。

次回発送日

7月15日の発送日

次回発送日は通常通り15日を予定しております。送りたいお手紙がある場合には、2日前（13日）までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもってポストに投函してください。

★新規ご入村者情報

現在、新規ご入村者情報はウェブ上からご覧いただいておりますが、紙媒体での配布をご希望の方はお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。また、ウェブ上のマイページはおススメ村人が表示されるので是非ご活用下さい。